

《資料 》

壁面線指定の申し出にあたっての必要書類

	図書の種類	明示すべき事項
1	壁面線指定の申し出書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様式 2</li> <li>・ 権利者にて捺印</li> </ul>
2	壁面線の指定を受けようとする理由書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壁面線指定を受けようとする理由を詳細に記入する。</li> </ul>
3	土地の地籍図の写し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 里道（赤色）、水路（水色）、堤塘敷（茶色）にて着色</li> </ul>
4	土地登記簿謄本	
5	土地、建物の権利者一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様式 3</li> <li>・ 壁面線の指定を受けようとする土地、建物の所有者、借地権者、借家人を記載</li> </ul>
6	隣地境界線と壁面線との間の空地の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隣地境界線と壁面線との間の空地の管理規約（案）、建築協定書（案）</li> </ul>
7	付近見取り図 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 方位、道路、目標となる地物を記入し、都市計画で定められた用途地域を着色する。</li> <li>・ 縮尺 1/10,000</li> </ul>
8	付近見取り図 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 方位、道路、目標となる地物、壁面線の指定を受けける街区及び壁面線（街区を赤色、壁面線を青色）、幹線道路（法第 4 2 条に定める道路等）までの経路を記入する。</li> <li>・ 縮尺 1/2,500</li> </ul>
9	街区の現況図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 縮尺、方位、各敷地境界線（赤色着色）、街区内における建築物の位置、用途、構造及び階数、を記入。</li> <li>・ 街区の大きさに合わせた縮尺にて作成。</li> </ul>
10	街区計画図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壁面線指定ののち、街区の想定される様子を表す。</li> <li>・ 縮尺、方位、各敷地境界線（赤色着色）、街区内における建築物の位置、用途、構造及び階数、壁面線（境界線からの後退寸法を記入のうえ青色着色）、街区に接する道路等の位置、名称及び幅員（幅員約 4 m 未満の場合は、後退線も記入）を記入。</li> <li>・ 街区の大きさに合わせた縮尺にて作成</li> <li>・ 災害時の各敷地の避難経路とその幅員、緊急車両進入動線を記入。</li> </ul>
11	現況写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壁面線の指定を受けける部分、前面道路、街区全体の様子を撮影したもの。</li> </ul>
12	その他	